3. 2020年度委員会活動

部	委員会名及び事業内容
総務	**①総務委員会** 総務会・正副会長会議・部長会 ・会全体の運営に関する総務事項（事務局運営、各委員会に属さない事項、自治体 からの各種委員推薦依頼への対応など）の協議、各事業部の報告検討事項の協議。 ・部長会は理事会の補完的役割を担う目的で、毎月1回開催した。
	②地域ブロック委員会 ・北部ブロック：テーマを決めての検討と情報交換。 ・せいぶSWネット：休止 ・朝霞地区ブロック：休止
	③広報委員会 ・広報紙「埼玉県社会福祉士会だより」を年4回発行。 ・会員及び関係機関を対象に活動の紹介、報告、情報交換等に資する広報紙の発行を目指し、編集会議、校正会議を開催した。
	④選挙管理委員会 役員（理事、監事）改選に向けて選挙管理委員を選出し、改選手続きを行った。
	⑤組織委員会 会員拡大のための入会金・会費免除を検討した。（研修等での入会案内配布は実施できず）
	⑥倫理委員会 委員会開催4回。苦情3件のうち1件を審議、2件を日本社会福祉士会に審議委託中。
	⑦災害時ソーシャルワーク委員会 ・ネットカフェからの一時避難者への支援、委員会として参加。（4月～5月） ・与野本町コミセンで委員会。災害グッズを持ち寄り、情報交換。（10月3日） ・日本社会福祉士会災害担当者オンライン会議参加。（10月24日） ・地震時に、会員で連絡しあい、地域の状況を把握した。（2月13日） ・オンライン委員会、情報交換。（2月20日）
研修	**①公開研修委員会** 日　時：2021年3月7日（日）13：30～15：00 場　所：Zoomウェビナーにおけるオンライン研修 内　容：「性の多様性を理解し地域で共に暮らすために」 ～LGBTに関する相談の事例と援助のポイント～ 講　師：加藤　慶　氏（東京通信大学　人間福祉学部　助教） 参加者：行政、福祉、教育分野等の関係者及び一般県民　37名
	②学会運営委員会 第23回埼玉県社会福祉士学会は、新型コロナウイルスの感染防止より口頭発表を中止し、抄録集による紙面発表のみとして希望者のみ掲載し、発行した。 発表数：4題 発表者：大塚綾香・小川政博・齋藤明・神尾まり子 抄録集：2021年1月 発行
	③生涯研修委員会 ・基礎研修 社会福祉士資格を取得して間もない社会福祉士を対象に開催した。 （1）基礎研修Ⅰ 自己研修、及び集合研修等により実施したが、新型コロナウイルスの感染防止のため未終了。 集合研修：1回（10/18）。2回目は新型コロナウイルスの感染防止のため次年度へ延期。 自己研修：課題に対するレポート作成。

部	委員会名及び事業内容
研修	研修内容：社会福祉士としての自覚を促す、専門性を身につける、社会福祉士の役割、 専門性を考える、倫理綱領・行動規範の理解、生涯研修制度について、 社会福祉士会のあゆみ、組織。 (2)基礎研修Ⅱ 自己研修、及び集合研修、集合演習等により実施したが、新型コロナウイルスの感染防止のため未終了。 集合研修：4回（7/19、9/12、10/18、12/12） 集合演習：1回（11/22） ＊集合研修2回、集合演習2回は新型コロナウイルスの感染防止のため次年度へ延期。 自己研修：課題に対するレポート作成。 研修内容：実践事例演習、実践研究発表、社会福祉における法の理解、スーパーバイジー体験、 地域における福祉政策と福祉計画について、ソーシャルワークと権利擁護の視点。 (3)基礎研修Ⅲ 2020年度は中止 (4)青年部研修（基礎研修Ⅰとの連動プログラム） ソーシャルワーク実践報告研修～社会福祉士の仕事と役割～ 日　時：2020年11月29日（日） 場　所：カルタスホール　第1～4会議室 内　容：会員講師3名による講義（障害分野、児童分野、高齢者分野）とグループワーク 参加者：基礎研修受講生など 32名 ・社会福祉士専門研修 基礎研修修了者及び認定社会福祉士取得者を対象に一層の実務専門性向上のための研修を実施した。 スーパービジョン課程：マンツーマン方式で 16名実施。（うち認定社会福祉士2名、各対象者ごとに通年6回）
	④地域包括支援センター委員会 ・福祉関係者のための地域ネットワーク実践力養成研修　（認証研修） 自己研修、及び集合研修、集合演習等により実施した。 日　時：2020年12月19日、20日、2021年3月21日 場　所：埼玉県社会福祉士会会議室、Zoomオンライン研修での開催。 内　容：集合研修ならびに集合演習　自己研修：企画シートの作成 修了者：6名
	⑤生活困窮者支援委員会 ・生活困窮者支援専門研修 日　時：2021年3月6日（土） 場　所：Zoomオンライン研修での開催 内　容：「こんなときだからこそ！公助」～問い直そう「自助・共助・公助」～ 講義、グループ検討。 講　師：後藤広史　氏（立教大学　コミュニティ福祉学部福祉学科　准教授） 参加者：15名
	⑥障害者自立支援委員会 ・障害者自立支援研修 日　時：2021年3月6日（土）14:00～16:00 場　所：Zoomオンライン研修　（事務局2階より配信） 内　容：「福祉住環境を社会福祉士として学ぶ」 講　師：障害者自立支援委員会 委員長　斎藤進一

部	委員会名及び事業内容
研修	参加者:埼玉県社会福祉士会　会員のみ 25名
	⑦多文化共生ソーシャルワーク委員会 新型コロナウイルスの感染防止のため中止。
	⑧子ども家庭支援委員会 日　時:2021年2月14日(日)14:00～16:00 Zoomオンライン開催 内　容:「子どもの生活と暮らし」　インシデント方式 事例提供者　会員　高野　里江、　会員　小谷野　和悟。
	⑨施設実習指導者研修委員会 ・施設実習指導者研修 日　時:2020年7月11日(土)～12日(日)9:30～18:25 場　所:さいたま共済会館 内　容:実習指導者の要件を満たす講習会として厚生労働省に届け出て実施。講義、演習。 対　象:相談援助経験を有し実習指導を担当する社会福祉士　31名を指導者として養成した。 ・フォローアップ研修　(実習指導者研修のフォローアップ・プログラム) 日　時:2020年7月11日(日)13:30～18:25 場　所:さいたま共済会館 内　容:実習現場における課題について講義、演習。　参加者 6名
調査研究	①独立型社会福祉士事務所委員会 ・研修会　2月に予定していたが、新型コロナウイルスの感染防止のため中止。 ・例会　Zoomオンライン開催 日　時:9/18、11/20、1/15、3/19(毎回金曜日19時～21時) 内　容:研修会開催についての相談 コロナ禍でそれぞれがどのようにソーシャルワーク実践を行なっているか 参加者:5～6人
	②地域包括支援センター委員会 ・情報交換会の開催を検討していたが、新型コロナウイルスの感染防止のため中止。
	③生活困窮者支援委員会 休止
	④障害者自立支援委員会 ・研究会(5回開催) 日　時:7/5、9/6、11/1、1/10　(5/3は新型コロナウイルスの感染防止のため中止。) 内　容:出生前診断、認知症についての研究や委員同士の意見交換、研修の打合せを行った。 参加者:各回平均約10名
	⑤多文化共生ソーシャルワーク委員会 ・研究会　①公開研究会:偶数月第3木曜日開催②社会福祉士研究会:奇数月第3金曜日開催 内　容:外国籍住民への支援のあり方を各方面から研究し、議論を深めた。 参加者:NPO、市町村、弁護士、行政書士など 6～12名 ・外部事業等協力(公益財団法人国際交流協会外国人総合相談センターへ会員派遣等)
	⑥子ども家庭支援委員会 ・定例会(4回開催) 日　時:4月～7月　中止　8/9、10/11、12/13、2/14(研修) 内　容:コロナ禍での障害児施設の取り組み　ヤングケアラーについて
	⑦司法福祉委員会 ・定例研究活動(2回開催) 新型コロナウイルス蔓延による緊急事態宣言発令や、蔓延防止の観点から定例研究活動を

部	委員会名及び事業内容
調査研究	やむなく延期とした。 ・更生保護関係機関等によるネットワーク会議への会員派遣 新型コロナウイルス蔓延による緊急事態宣言発令等に伴いネットワーク会議開催は中止となっている。
事業	①災害時ソーシャルワーク委員会 ・東日本大震災の加須市内被災者の支援 12回巡回訪問、相談（緊急事態宣言期間は電話とハガキ対応）他、随時個別支援。一件は、意識不明で入院後、転院、転居等役場と連携して支援。 ・双葉町役場、双葉町社会福祉協議会との協議。（4回実施内1回はオンライン会議）
	②総合相談事業委員会 ・総合福祉相談会：福祉に関する「1日相談会」を開催 ①熊谷市　ふれあい広場～障害者団体と市民の交流の広場～ は開催中止。 ②さいたま市　第19回WithYouさいたまフェスティバルへの参加。 2/6～2/7　WithYouさいたまでの開催は中止。 ホームページ上での開催となり、会の活動紹介等を行った。 対　象：相談支援を進めている支援者及び県民 協力団体：一般社団法人埼玉県介護福祉士会
権利擁護センター	①成年後見制度委員会ぱあとなあ埼玉 ・ぱあとなあ埼玉の事業（成年後見人活動支援に係る事業） ぱあとなあ埼玉会員数：416名（2021年3月31日現在） ぱあとなあ名簿登録者数：382名（2021年3月31日現在） 後見人の受任状況 ：1,683件（2月定期報告より2021年1月31日現在） 内訳/後見1,266件、保佐339 件、補助 52件、後見監督人1件、保佐監督人1件、補助監督人0件、任意後見監督人0件。 任意後見契約24 件（内　任意後見＋委任代理契約18件、任意後見人として活動中 3件） （1）相談支援 成年後見に関する相談事業を実施 定例相談会：毎週土曜日AM10：00～PM1：00　祝日、年末・年始を除く。（計32日） 毎回相談員2名が対応。相談件数　44件。 （2）成年後見人材育成研修　認証研修　（名簿登録研修受講要件） 日　時：2020年9/13 、10/11、11/8、12/13　全日（日）9：30～17：30 場　所：すこやかプラザ、カルタスホール 受講者数：39名（茨城県社会福祉士会会員3名を含む） 内　容：専門職後見人としての社会福祉士が身につけるべき知識・技術を修得し、権利擁護センターにおける、成年後見人としての一定の力量を確保すること。 地域で相談援助にあたる者が、成年後見制度活用の知識、技術を修得すること。 （3）受任基礎研修兼名簿登録研修 2019年度（延期になった研修を2020年に実施） 日　時：2020年7月23（日） 場　所：すこやかプラザ及びZoomオンライン研修 受講申込者数：19 名 2020年度 日　時：2021年3月14（日） 開催方法：Zoomオンライン研修 受講申込者数：　36名 （4）実務研修/権利擁護実践研修

部	委員会名及び事業内容
権利擁護センター	新型コロナウイルス感染症拡大により中止 (5)実務研修 実務上必要な知識を身につけ、成年後見人としての職務遂行に役立て、また資質の向上を図るための研修を開催。 第1回実務研修・事例検討会 日　時:　2020年10月10日(土)15:00～17:00 新型コロナウイルス感染症拡大により2021年4/10に延期 開催方法:Zoomオンライン研修 内　容:「困難事例の後見事務法律相談から～会員から寄せられた法律相談を共有するために～」 講　師:村松　綾子　氏(弁護士・社会福祉士) (6)運営委員会 ぱあとなあ埼玉の組織、事業に関する検討・管理を行う。 運営委員会:5回開催　(6/13、8/8、10/10、12/12、2/13) 出席者:運営委員20名、事務局 場　所:Zoomオンラインを取り入れ開催 内　容:ぱあとなあの運営、受任者支援、成年後見人養成研修の企画検討など。 (7)　連絡会 ぱあとなあ会員の連絡及び情報交換を行う。(年6回:うち3回は地域ブロック別開催) ・全体連絡会:中止 ・ブロック別連絡会:中止 (8)福祉関係者のための成年後見活用講座 ・第35/36回　支援者のための成年後見活用講座　新型コロナウイルス感染症により延期。 (9)法人後見 本会が法人として、現在4名(後見1件、保佐2件、補助1件)を受任している。 (10)成年後見制度利用促進事業 埼玉弁護士会、埼玉司法書士会と当会が連携して、三士会として事業の推進のために連絡協議会を概ね隔月で開催した。この連絡協議会には埼玉県担当課、埼玉県社会福祉協議会からも職員が参加された。また、県内家庭裁判所の管轄区域ごとの連絡協議会への会員の派遣及び依頼のあった市町の連絡協議会に会員を派遣した。 (11)その他 報告書チェック　(定期報告書チェック3月13日、3月27日、随時報告書チェック) 業務査察委員会開催　日時:8月12日　18:00～20:00　於:社会福祉士会2階会議室
	②高齢者・障害者虐待対応専門職チーム委員会 ・高齢者・障害者虐待対応:本会と埼玉弁護士会との連携チームが、契約市町村の虐待対応を支援した。 (1)埼玉弁護士会との虐待協議会　8/5、10/7、12/9、2/9、3/30　計5回 (2)契約市町村(16市町)の要請に応じて連携チームを派遣し、困難事案の助言及び相談を行った。 上尾市:7/8、9/9、11/11、1/13、3/10(リモート)　飯能市:2/3、3/1　桶川市:6/18　坂戸市:1/12 ふじみ野市:7/16、10/16、2/25　入間市:8/28、11/27　鳩山町:3/18　三郷市:9/16 東松山市:6/16、12/18　久喜市:11/20　合計19回派遣 「志木市、加須市、川越市、鶴ヶ島市、狭山市、羽生市」は、派遣なし。 (3)埼玉弁護士会合同研修会 : 新型コロナウイルス感染症の予防のため開催せず
自立相談支援	**①自立支援専門員事業委員会** ・自立支援専門員事業 埼玉県からの受託事業 受託期間:2020年4月1日～2021年3月31日

部	委員会名及び事業内容
自立相談支援	派遣先:埼玉県福祉事務所(東部中央・西部・北部・秩父) 内　容:生活保護受給者の抱えている住居・年金・債務整理を含む生活問題の解決、改善のために、本人を取り巻くネットワークの調整などを行いながら、安定した地域生活が送れるように支援した。 支援員:8名 実　績:活動日数延べ518日、支援世帯員総数117名。 支援内容総数:家庭訪問438件、医療機関訪問105件、関係機関協議420件など。
	②住宅ソーシャルワーカー事業委員会 ・埼玉県・市住宅ソーシャルワーク事業 埼玉県、戸田市、蕨市、東松山市、秩父市、白岡市からの受託事業 受託期間:2020年4月1日～2021年3月31日 内　容:生活保護受給者等にアパートなど居宅を設定する支援を行い、地域生活への移行を行った。 支援員:常勤換算6名 実　績:新たに住宅設定、転居支援、地域生活支援をした人数112人、一時宿泊施設利用2件、福祉事務所訪問371回、居宅設定後家庭訪問280回、関係機関訪問311件。 ・さいたま市住宅ソーシャルワーク事業 さいたま市からの受託事業 受託期間:2020年4月1日～2021年3月31日 内　容:条例届出施設及び無料低額宿泊所に入所している生活保護受給者など、住まいを喪失する者に対し、アパートなど居宅を設定する支援を行い、地域生活への移行を行った。 支援員:常勤換算11名配置 実　績:新たに住宅設定、転居支援、地域生活支援をした人数338人、一時宿泊施設利用60件、福祉事務所訪問1,300回、居宅設定後家庭訪問945回、関係機関訪問819回。 ・住宅確保要配慮者入居支援 埼玉県住まい安心支援ネットワーク協議会からの受託事業 受託期間:2020年7月20日～2021年1月31日 支援対象:狭山市内の要配慮者、県営住宅一時利用者、住まい相談プラザ利用者。 内　容:相談会や電話相談を通して、依頼のあった支援対象者に対し、住宅関連相談を行い、アパート等への入居支援を行った。 実　績:61組の相談と47件の入居支援を実施した。
	③自立相談支援委員会 ・生活困窮者自立相談支援事業 (1)入間市からの受託事業 受託期間:2020年4月1日～2021年3月31日 内　容:生活困窮者自立相談支援事業を入間市福祉事務所内で実施した。 相談員:常勤換算3名配置 実　績:新規相談受付件数445件、自立支援プラン策定件数322件。 (2)加須市からの受託事業 受託期間:2020年4月1日～2021年3月31日 内　容:生活困窮者自立相談支援事業を加須市福祉事務所内で実施した。 相談員:常勤換算1名配置 実　績:新規受付件数249件、自立支援プラン策定件数3件、延支援件数1,729件。 (3)埼玉県からの受託事業(県東部地区ほか) 受託期間:2020年4月1日～2021年3月31日 内　容:福祉事務所と連携して、生活困窮者の就労支援や住宅確保給付金など任意事業のメニューも活用しながら、自立支援に向けた総合支援を行った。

部	委員会名及び事業内容
自立相談支援	相談員:常勤換算4人 実　績:新規受付件数900件、自立支援プラン策定件数115件、住宅確保給付金決定件数92件、就労支援件数77件。 ・自立相談支援機能強化事業 埼玉県からの受託事業(県東部地区) 受託期間:2020年4月1日～2021年3月31日 内　容:生活困窮者のうち、就職氷河期世代をはじめとした社会参加に向けてより丁寧な支援を必要とする者へアウトリーチを行った。 相談員:2名　(月3日から4日) 実　績:12件のアウトリーチ支援 ・市町村支援事業 埼玉県からの受託事業 受託期間:2020年4月1日～2021年3月31日 内　容:生活困窮者自立支援事業において、県内で主任相談支援員、相談支援員、就労支援員として配置されている者への研修。 支援員:1名 実　績:4日間の研修開催。共通研修参加者44名、主任相談支援員研修参加者8名、相談支援員研修参加者27名、就労支援員研修参加者13名、修了証発行者39名。 ・ 無料職業紹介事業 内　容:生活困窮者等の就労支援の一環として職業紹介を行う事業。 実　績:求職相談(0件受付)　就職(0件) ・家計相談事業 (1)さいたま市からの受託事業 受託期間:2020年4月1日～2021年3月31日 内　容:自立相談支援の一環として、家計管理に課題を抱える者に対し生活再建の支援を行った。生活保護世帯の子どもの大学等への進学支援。 支援員:従事相談員1名(2日/月)及びその他の登録相談員が対応。 実　績:相談件数109件、家庭訪問件数82件、支援調整会議20件、終了件数75件。 (2)飯能市からの受託事業 受託期間:2020年4月1日～2021年3月31日 内　容:自立相談支援の一環として、家計管理に課題を抱える者に対し生活再建の支援を行った。 支援員:従事相談員1名(2日/月)及びその他の登録相談員が対応。 実　績:市役所内において相談を実施。相談件数30人、健康作り支援課保健師に事業説明会を開催。
	④ホームレス自立支援委員会 ・ホームレス巡回相談事業 ホームレスの居所へ巡回し生活改善のための相談や情報提供の働きかけを行った。 支援員:支援員登録制の実施 ☆新規登録支援員研修は今年度中止。(従来の登録支援員のみで実施) 登録支援員:36名 支援活動:訪問活動　35回実施、参加支援員68名、訪問人数 96人。 ・国土交通省の合同巡視同行(居所を訪問)夏は中止、冬の巡回同行37名、支援員13名。 ・定期巡回(夏・冬の居所訪問)　フォロー訪問(巡視後の個別支援) その他:ネットカフェ閉鎖に伴う一時避難所利用者への生活相談を県の受託事業として、災害時SW委員会、居住支援法人委員会の会員と共同対応。 会　議:事業実施に向けた会議　年間7回　(4/4, 6/13、7/18、9/19、11/21、1/23、3/20) 連携団体:フードバンク(配布食料の提供)、With Youさいたまフェスティバルは中止。

部	委 員 会 名 及 び 事 業 内 容
自立相談支援	⑤子ども家庭支援委員会 ・希望の家事業 埼玉県からの受託事業 期　間:2020年4月1日～2021年3月31日 内　容:児童養護施設等を退所し、大学、専門学校等に進学する者に対し、住居の提供、進学から卒業までの生活、修学の支援、および社会人に向けての支援を行った。 支援員:会員18名 実　績:支援対象者17名　第1希望の家(東部)、第2希望の家(西部)、第3希望の家(西部)、第4希望の家(中央)を、個別面接・見守りを定期的に行うとともに、学校・施設を随時訪問した。 ・社会的養護自立支援事業における支援コーディネーター業務 埼玉県からの受託事業 期　間:2020年4月1日～2021年3月31日 内　容:18歳を超えた、里親や児童養護施設等入所者で、措置解除された者のうち、自立のための支援を継続して行う必要があると判断された者について、継続支援計画の作成や相談等の支援を行う。 支援員:6名 実　績:支援対象者12人について、継続支援計画を作成し支援した。
事務局	1.　総会、役員会、運営委員会等の開催 2.　役員及び各委員会との連絡調整 3.　日本社会福祉士会及び他県社会福祉士会との連絡調整 4.　各種行政施策等に対する会員の参加についての連絡調整 5.　福祉施設等の求人情報の発信 6.　会員名簿の整理、文書の発送作業 7.　会計経理事務 8.　会費の徴収事務 9.　他団体・機関との連絡調整 10. 各事業受付等、開催支援 11. ホームページの管理 12. 会員及び一般市民からの問い合せ対応 13. 公益認定変更、届出に関する事務 14. 事業契約、労働契約等に関する事務 15. その他会活動に関する庶務